

日々の訓練と防火広報の継続で、火災のないまちに

「無 火災が最大の目標」と
力強く語るのは、本

年4月1日付けで市消防団の6
代目団長に就任した米田兼彦さ
ん。この春から団員715人を
率い、市民の生命と財産を守る
消防団活動の先頭に立つ。

知人に誘われ、昭和55年に旧
松尾村消防団に入団した米田さ
ん。さっそく同年の村消防操法
訓練大会に、チームの一員とし
て出場する。「それまで選手で
出た人が、旅行に行っちゃっ

※消防団員が火災の消火活動の熟達さを競う
大会で、毎年の消防団恒例行事

て」と振り返るが、入団1年目
の大会で3位に入賞すると、そ
の後は毎年、操法の練習に明け
暮れた。「練習後は毎日といっ
ていいほど懇親会を開き、家族
には不評だったが、団員との絆
は強くなった」と振り返る。入
団以降、経験と役職を重ね、平
成31年4月からは副団長として
団長を補佐しながら、団幹部と
の意思疎通や若手団員への指導
も意識し、活動を進めてきた。
団員歴は今年で45年になるが

※組織再編により令和2年からは「方面隊長」と呼称

市消防団長（6代目）

米田 兼彦 さん

また・かねひこ 65歳 野駄

「団員確保と各行事の参加率向
上は、大きくて難しい課題と痛
感している」という。

昨年中には、消防行事のあ
り方について、各分団にアン
ケートを実施した。出された
意見を、団の幹部が集まる会
議で検討。「今年はこの形で
やってみよう」と、本年度の消
防操法訓練大会では負担軽減
のため、一部の訓練を取りや
めることに決めた。「団員の
声は大事にしなければ」とも。

消防団の第一の使命を「火
災を予防すること。火災発生
時には、延焼も含めて被害を
最小限に抑えること」と確固
たる信念を持つ米田さん。同
時に「出動した団員を火災現



会議に集まった市消防団の各分団長などを前にあ
いさつする米田さん（5月22日、消防団幹部会議）

場から無傷で自宅に帰さなけ
ればならない」と、自らの責
任の重さを噛みしめる。

「予期せず起こる火災や自然
災害に対応できるように、地道な
訓練継続が欠かせない」と日頃
からの訓練の大事さを繰り返し述
べ、「自分の住む地域の安
全は、自分たちで守らないと
と力を込める。」

編集後記

▽市は毎月、記者会見を行うほか、
随時、記者発表を行い、当面の市政
の予定をお知らせしています。本号
で取り上げた催し物の様子のいくつ
かも、報道機関に取り上げていた
きました。毎月の発表内容は、市ホ
ムページやインスタでも公開してい
ますので、ぜひ見てください。智
▽NHKのご自慢。前日に撮影位置
の下見で会場内を見学しましたが、
見慣れない場所になっていてびっ
くり。当日は、NHKさんの進行、
出場者の歌、観覧者の手拍子とど
も盛り上がった記念事業でした。こ
の盛り上がりや、少しでも紙面でお
伝えできていればうれしいです。千

※広報はちまんたい6月12日号（No.360）の印刷経費は1部112.73円、発行部数は9,571部です。経費の一部は広告料で
賄われています。広告掲載は、株式会社（019-626-3370）まで。

【広告】

腰の痛み、膝の痛み、手足のしびれ、骨粗鬆症

八幡平中央 整形外科・
内科クリニックとなり

漢方の あさひ薬局

八幡平市大更25-118-1（国道282号沿い） TEL.0195-75-2227

